

『“さがのお茶”ルネサンス推進協議会』の創設

会長：嬉野市長、副会長：吉野ヶ里町長、事務局：嬉野市役所茶業振興課、佐賀大学産学・地域連携機構

農林水産省：日本の食を広げるプロジェクト事業－『食のモデル地域』育成事業 採択 25～29年度(5ヵ年)

育成事業の趣旨・目的：UNESCO無形文化遺産に登録されるなど世界的に「和食・日本人の伝統的な食文化」が注目される中、“生産者と消費者、日本と世界を結ぶ”ことをコンセプトに地域食材の利用拡大に熱心に取り組む地域を「モデル地域」に認定し、身近な「食材」「食文化」を評価・活用するほか、その価値を国内外に伝えることが目的。農林漁業・食品産業だけでなく、農山漁村が有す機能について考える契機とする。



嬉野伝統の釜炒り茶

豊かな暮らしに“さがのお茶”活用事業の目的

“さがの茶”の生産振興

釜炒り茶の伝統を活かした質の向上・担い手育成、新製法の普及、環境保全型農業の推進・省力化栽培・6次産業化・農商工連携

“さがの茶”文化の継承と振興

栄西禅師・高遊外売茶翁・吉村新兵衛翁…
茶文化の歴史資料収集と情報発信、茶器
と茶菓子の地場産業とのコラボレーション

“さがの茶”の消費拡大

地産地消・健康機能強化(機能性食品開発)
認知度アップへのPR活動、食育・茶育、伝統
料理・郷土料理とのコラボ、食と農の絆づくり



肥前通仙亭の街カフェ

食のモデル地域育成事業／各事業の紹介

さがの茶文化、 歴史、茶人

- 佐大プロジェクト研究所 (SUPLA)茶の文化と科学研究所、地域環境コンテンツデザイン研究所
- NPO法人高遊外売茶翁顕彰会
- 佐賀・茶学会

“デジタルミュージアム”の構築

さかの 茶菓子和茶器

- NPO法人高遊外売茶翁顕彰会
- NPO法人まちづくり機構 ユマニテさが
- NPO法人鳳雛塾
- 佐賀県菓子工業組合
- 佐賀・茶学会

“さがのお茶”街カフェの普及

茶産業の振興 担い手の育成

- 佐賀大学
- 西九州大学
- 徐福ラボ
- 佐賀・茶学会
- 佐賀県茶業試験場
- 西九州茶農業協同組合連合会
- 佐賀県茶商工業協同組合
- J.Aさが・茶業センター

新商品の開発・機能性研究

地域・国際交流 による地域活性化

- 佐賀大学 産学・地域連携機構
- 佐大プロジェクト研究所 (SUPLA)茶の文化と科学研究所、地域環境コンテンツデザイン研究所

ティーツーリズムの創成

さかの茶 マーケティングの構築

- 佐賀大学
- 佐賀・茶学会
- (社)お茶結びプロジェクト
- NPO法人日本茶インストラクター協会
- NPO法人高遊外売茶翁顕彰会
- NPO法人まちづくり機構 ユマニテさが
- NPO法人鳳雛塾

“さがのお茶”ブランディング「茶育」の推進

お茶の歴史に
さ
が
あり
ま
す。



“さがのお茶”
ルネサンス
推進協議会

お茶の歴史に **さが** があり。

◆日本のお茶栽培は佐賀県から始まった

榮西禪師(1141~1215年)

臨済宗の開祖で、修行先の宋より持ち帰った茶種を東背振の山腹にまいたのが日本茶栽培の始まりだとされ、「茶は養生の仙薬なり…」で始まる日本最初の茶書とされる『喫茶養生記』を著すなど喫茶文化を広めました。

◆うれしの茶の父 吉村新兵衛翁

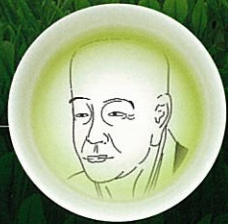
吉村新兵衛翁(1603~1657年)

嬉野の山林を拓いて茶種をまき栽培しながらも、南京釜の製法を改良し近隣に広めるなど、茶業の発展に努めました。このことから、茶樹の育成に適した嬉野は茶の一大産地となりました。

◆煎茶道の祖と呼ばれる人物は佐賀生まれ

高遊外売茶翁(1675~1763年)

現在の佐賀市蓮池町に藩医の息子として生まれ11歳で出家後、京都宇治の黄檗宗の僧として各地を巡るなか長崎で煎茶を学び、京都鴨川縁に「日本初の喫茶店」通仙亭を開き、業として珍重され上流階級の文化だった喫茶風習を庶民に広めました。



“さがのお茶”を全国へ、世界へ。

“さがのお茶”を広めるために、さまざまな事業を展開しています。



学校教育での“さがのお茶”の普及

高校生を対象に、お茶の淹れ方教室を開催しました。実際にお茶を淹れてみることで、より“さがのお茶”を身近に感じることができたようです。



“さがのお茶”街カフェの普及

佐賀のお菓子和茶器を活用して行います。



肥前通仙亭の街カフェ



茶育事業の推進

- 学校教育への“さがのお茶”の普及
- 副読本の刊行
- 日本茶インストラクターの養成



※ティーツーリズムとは茶産地を中心として、その地域に残された歴史・自然・文化を人々と交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことです。



担い手の育成教育

今後“さがのお茶”をより広めるためにも、担い手の育成が欠かせません。そのためにも、製茶技術の研修などセミナーやシンポジウムを開催しています。

ティーツーリズムの創成

その他、さがのお茶に関するデジタルミュージアムや新商品の開発も計画しています。

体制

◎佐賀大学

【茶の文化と科学研究所】
(食農連携・機能性の研究)

【地域環境コンテンツデザイン研究所】
(デジタルミュージアムの構築)

【徐福ラボ】
(食農連携、新商品の開発支援)

◎西九州大学

(食農連携、新商品の開発)

◎佐賀・茶学会

(副読本の作成)

◎NPO法人高遊外売茶翁顕彰会

(街カフェの普及)

◎NPO法人まちづくり機構ユマニテさが

(街カフェの普及)

◎NPO法人鳳雛塾

(「茶育」事業)

◎(社)お茶結びプロジェクト

(「茶育」事業)

◎佐賀県茶業試験場

(新技術・新商品の開発)